

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|---------------------------|-------------------------|---------|---------------|-------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 90 (3) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 月1・2限・水4限 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第2回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第3回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第4回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第5回 | 講義 演習形式 授業を通じての到達目標 | 知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる | | 教科書・第1回卒業試験問題 | 卒業試験の自己採点、問題の見直しをしておくこと | |
| | 各コマにおける授業予定 | 第1回卒業試験の復習 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|-------------------------|--|---------------|-------------------------|
| 第6回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる | | 教科書・第1回卒業試験問題 | 卒業試験の自己採点、問題の見直しをしておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 第1回卒業試験の復習 | | | |
| 第7回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる | | 教科書・GW課題 | GW中に課題をしておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第8回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 知識の精度をあげ、正しい知識を使えるようになる | | 教科書・GW課題 | GW中に課題をしておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第9回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第10回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第11回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 東洋医学概論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第12回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 東洋医学概論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第13回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第14回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第15回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|---------------------------|----------------------|---------|--------------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 90 (3) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 月1・2限・水4限 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 講義 授業を 通じての 到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第17回 | 講義 授業を 通じての 到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書 を熟読しておくこと | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第18回 | 講義 授業を 通じての 到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書 を熟読しておくこと | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第19回 | 講義 授業を 通じての 到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |
| 第20回 | 講義 授業を 通じての 到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科 書を熟読しておくこと | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|----------------------|--|----------|----------------------|
| 第21回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第22回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 基礎医学の重要な内容を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 解剖学・生理学の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第23回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学総論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第24回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学総論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第25回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 前期授業内容を理解し説明できる | | 教科書・プリント | 前半の配布資料、卒業試験の見直し |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第26回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 前期授業内容を理解し説明できる | | 教科書・プリント | 前半の配布資料、卒業試験の見直し |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第27回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第28回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学・生理学 の復習 | | | |
| 第29回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 前期授業内容を理解し説明できる | | 教科書・プリント | 前半の配布資料、卒業試験の見直し |
| | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | | |
| 第30回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 前期授業内容を理解し説明できる | | 教科書・プリント | 前半の配布資料、卒業試験の見直し |
| | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|--------------------|-----------------|------------------|--------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 90 (3) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 月1・2限・水4限 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典 鈴木次郎 他 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第31回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | | |
| 第32回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | | |
| 第33回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | | |
| 第34回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | | |
| 第35回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------------|-------------|------------------|----------|---------------------|
| 第36回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第37回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第38回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第39回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第40回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第41回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第42回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第43回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第44回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本授業の疾病を理解し説明できる。 | 教科書・プリント | 臨床医学各論の教科書を熟読しておくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論 の復習 | | |
| 第45回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 前期授業内容を理解し説明できる | 教科書・プリント | 前半の配布資料、卒業試験の見直し |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|----------------------------------|-------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 演習を通じての到達目標 | 医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第2回 | 演習を通じての到達目標 | 医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第3回 | 演習を通じての到達目標 | 医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第4回 | 演習を通じての到達目標 | 医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第5回 | 演習を通じての到達目標 | 医療概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第6回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第7回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第8回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第9回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第10回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第11回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第12回 | 演習を通じての到達目標 | 公衆衛生学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 公衆衛生学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第13回 | 演習を通じての到達目標 | 関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第14回 | 演習を通じての到達目標 | 関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第15回 | 演習を通じての到達目標 | 関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|----------------------------------|-------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第16回 | 演習を通じての到達目標 | 関係法規について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 関係法規について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第17回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第18回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第19回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第20回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第21回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第22回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第23回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第24回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第25回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第26回 | 演習を通じての到達目標 | 解剖学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 解剖学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第27回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第28回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第29回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第30回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|----------------------------------|------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第31回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第32回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第33回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第34回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第35回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|---------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第36回 | 演習を通じての到達目標 | 生理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 生理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第37回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第38回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第39回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第40回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第41回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第42回 | 演習を通じての到達目標 | 病理学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 病理学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第43回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第44回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第45回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|----------------------------------|---------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第46回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第47回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第48回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第49回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第50回 | 演習を通じての到達目標 | 臨床医学総論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学総論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|---------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第51回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第52回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第53回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第54回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第55回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第56回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第57回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第58回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第59回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第60回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 臨床医学各論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 臨床医学各論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|--------------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
| 科目名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対象学年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担当教員 | 寶田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第61回 | 演習を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第62回 | 演習を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第63回 | 演習を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第64回 | 演習を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第65回 | 演習を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|--------------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第66回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | リハビリテーション医学について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション医学について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第67回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第68回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第69回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第70回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第71回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第72回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第73回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第74回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 東洋医学概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第75回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|----------------------------------|---------------------------------|---------|----------|-----------------------------|----------------|
| 科 目 名 | 総合演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 180 (6) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2校舎503教室 |
| 担 当 教 員 | 實田潤・和歌秀典・山下浩平 ・鈴木次郎・花原容成・竹中美樹 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 1年次・2年次までの授業をもとに、課題演習・授業を通し、はり師・きゅう師としての知識の構築ならびに、総合力を身につけていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 定期試験:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各科目の教科書・授業資料プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 各科目の基本となる知識(重要キーワード・単語)の確認・構築は課題・自習で行い、授業は理解を深めるためのツールとして受講すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家資格(免許)の意味をしっかりと思い出し、十分な知識をもった医療人となることを目指してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第76回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第77回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第78回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第79回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |
| 第80回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく | |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|----------------------------------|--|----------|-----------------------------|
| 第81回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第82回 | 演習を通じての到達目標 | 経絡経穴概論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴概論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第83回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第84回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第85回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第86回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第87回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第88回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第89回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |
| 第90回 | 演習を通じての到達目標 | 東洋医学臨床論について、国家資格取得者にふさわしい知識を構築する | | プリント、教科書 | 1年次・2年次・3年次前期までの授業内容を復習しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論について、講義・演習を通して復習を行う。 | | | |